

e ラーニングの試行

第31回技術士全国大会において技術交流研究会では、第4分科会(防災研究会)の協力を得ながら、これまで取り組んできたe ラーニングのデモンストレーションを実施しました(写真1、写真2)。

会場は、参加者がたくさん集まる3階エレベータ横のロビーフロアに展示スペースと仮想的に遠隔地の環境を配備し、オンデマンド型およびライブ型のe ラーニングを実践的な形式でセットしました。

オンデマンド型e ラーニングは、図-1に示すように日本技術士会北海道支部・北海道技術士センターのホームページ(<http://www.ipej-hokkaido.jp>)の中にある当研究会コンテンツにて一部が運用されているもので、平成15年度から蓄積してきた講演内容を掲示しており、インターネットさえあればいつでもどこでもこれを見て学習できる教材的なものです。

第95回技術交流研究会 ● 平成15年12月4日(木)

「移植・人工臓器と再生医療」

北海道大学 医学博士
松下 透明 教授

技術交流研究会・防災研究会合同セミナー
防災とまち(ひと)づくり ● 平成16年3月4日(木)

「地球シミュレータの概要と研究成果」

地球シミュレータセンター
平野 哲 特別講師

技術交流研究会・防災研究会合同セミナー
防災とまち(ひと)づくり ● 平成16年3月4日(木)

「危機管理と組織運営」

ニセコ町
逢坂 誠二 町長

図-1 e ラーニング事例

【オンデマンド型e ラーニング実施状況】



写真-1 オンデマンド型e ラーニングの展示



写真-2 オンデマンド型e ラーニングの説明

一方、ライブ型e ラーニングは、NTT コムウェア北海道株式会社の協力を得て実施しました(図-2)。

このシステムでは、第4分科会の講演やパネルディスカッションの模様をテレビ会議システムのごとく聴講し、その後にはリアルタイムな意見交換も行いました(写真-3～写真-5)。

テレビ会議システムとライブ型e ラーニングの違いは、費用が数十分の1で済むことやインターネット回線であるため全世界と対話することも可能なこと、撮影された講演内容をオンデマンド型e ラーニングに活用できることなどが挙げられます。

本試行の感想としては、これらは技術的に先端な試みにも関わらず、参加者があまりにも自然に受け入れており、このような試みが未だ実用化されていないことの方が不自然に感じられたということです。

アンケート行った回答を見ても、概ね 90% がこうしたシステムの必要性を感じており、今後は資質向上や社会貢献のツールとして、周囲との連携を図りながら推進していこうと考えています。

【ライブ型 e ラーニング実施状況】

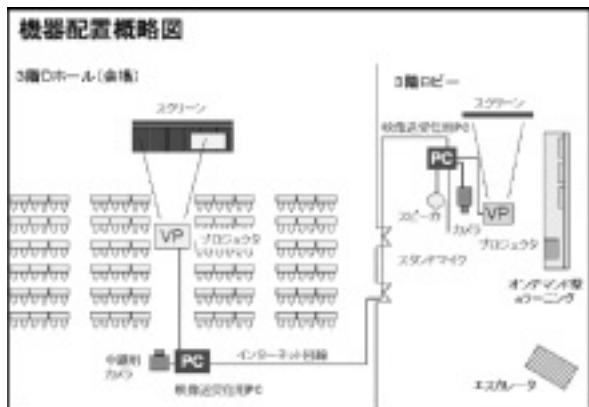


図-2 ライブ型 e ラーニングの機器配置



写真-3 ライブ型 e ラーニング本会場 (第4分科会)



写真-4 ロビーに映し出された本会場の講演状況



写真-5 ライブ型 e ラーニングによる質疑応答

最後に、アンケートにおける自由記述意見の中から主なものを紹介します。

- ・地域を越えた研修会に利用ができる。期待したい。
- ・全国各支部を連携した会合に適している。
- ・東京など中央での分科会活動へ遠隔参加できるようになると有難い。
- ・東北でも実施しようと思っている。

※ちなみに、札幌以外の道内技術士 5 人に聞いたところ、全員ライブ型を希望していた。

(文責: 技術交流研究会 岡田 昌樹)

毎年 9 月に開催している研究会は、技術士全国大会開催のためお休みしましたが、12 月から通常の活動を行います。

会員以外の方も参加できます。多数、ご出席下さい。また、入会希望の方は、北海道支部事務局までご連絡下さい。

平成 16 年度 活動予定表

開催日	活動内容
平成 16 年 12月 2 日 木曜日	■講演会 テーマ:「(仮称) 工学系・生物系大学の研究現場」 講師:工学系及び生物系大学の先生に研究現場を紹介いただく。
平成 17 年 3月 3 日 木曜日	■講演会 テーマ:「文化系大学の研究現場」 講師:文化系大学の先生に研究現場を紹介いただく
	開催場所:KKR ホテル札幌 開催時間:14:00~17:30 参加費:1,000 円 (技術士会会員)、2,000 円 (非会員) 定員:50 名

(文責: 技術交流研究会幹事 吉野 大仁)